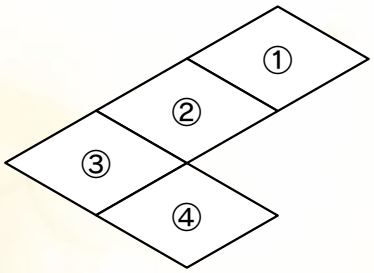
公益社団法人 石川県宅地建物取引業協会 創立50周年

記念式典・祝賀会プログラム

REAL PARTNER 50th ANNIVERSARY ISHIKAWA



表紙写真

① 能登　白米千枚田（輪島市）
② 金沢　鼓門（金沢市）
③ 加賀　那谷寺（小松市）
④ 白山　白山白川郷ホワイトロード（白山市）

プログラム

と　き◆平成29年11月21日（火）　午後3時30分～午後7時
ところ◆ホテル日航金沢

記念式典

（午後3時30分～午後4時30分）
3階「孔雀の間」

1. 開式の辞
2. 物故会員に対する黙祷
3. 会長式辞
4. 来賓祝辞
5. 来賓紹介
6. 祝電披露
7. 表彰状・感謝状授与
8. ハトマーク・ビジョン石川発表
9. 閉式の辞

祝賀会

（午後5時～午後7時）
4階「鶴の間」

アトラクション「御陣乗太鼓」

1. 開宴
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 鏡開き
5. 乾杯
6. 祝宴

アトラクション
「オーケストラ・アンサンブル金沢 弦楽四重奏」

7. 閉宴

式辞

公益社団法人　石川県宅地建物取引業協会　会長

吉本　重昭

本日ここに、公益社団法人石川県宅地建物取引業協会創立50周年記念式典・祝賀会を挙行するに至り、ご臨席頂きました皆様と共にこの慶びを分かち合うことが出来ますことに、心より厚く御礼申し上げます。

当協会は、宅地建物取引業法制定後の業界団体を組織する動きを受け、1967年（昭和42年）3月17日に正会員231名、準会員18名で創立し、宅地建物取引業法第74条に基づき、同年12月28日に石川県より「社団法人」としての認可を受け設立され、2013年（平成25年）4月1日に「公益社団法人」へと移行致しました。

設立以来、半世紀の永きに亘り、その社会的使命をかみしめつつ、宅地建物取引業の適正な運営の確保・発展、不動産流通の近代化に努め、広く公共の福祉に寄与しつつ、会員の品位の保持及び資質の向上を通じて、地域の活性化、消費者の保護、より良い住環境の形成に繋げるべく、信頼性と安全性の向上に努めて参りました。

その間、高度経済成長期を経て著しい成長を遂げた当業界でしたが、バブル崩壊後、地価の下落と共に住宅需要・土地取引は低迷し、異質かつ厳しいデフレ状態が長く続くこととなり、昨今では、多様化する価値観やライフスタイルの変化に応じて、ますます高度・複雑化していく業務形態に加え、人口減少・高齢化の進展等社会構造の変化に伴い顕在化してきた空き家等の既存住宅流通に係る問題など、多くの課題が山積する一方で、土地住宅に関する税制・政策による業界支援、並びに2015年（平成27年）3月14日に金沢で開業した北陸新幹線による経済効果、同年4月1日に施行された改正宅地建物取引業法による「宅地建物取引士」への名称変更など、陰に陽に激動の時代を歩んで参りました。

これら黎明期から激動の時代を乗り越え今日に至るまで、使命と責任をもってお客様と向き合い、真摯に業に取り組み経験を積み重ねてこられた諸先輩方や会員各位、いつの時もお支え下さった関係各位のご努力と英知に心より敬意を表し、感謝を申し上げます。

これからも地域に必要とされる存在であるため、日々刻々と変化する社会情勢を勘案し、5年後、10年後の未来、協会として、宅地建物取引業者として、地域とどう向き合い、お客様にとってどうあるべきか、現状を分析し、中長期的な課題を抽出、解決のための戦略・方針等を取りまとめた「ハトマーク・ビジョン石川」を策定致しました。

この「ハトマーク・ビジョン石川」、そして上部団体が先に策定したグループ・ビジョンに基づき、グループの一員として、会員業者と共に、描く未来の実現に向けて、地域に寄り添う真の存在（リアルパートナー）であり続けることを目指して努めて参る所存です。

本日の記念式典・祝賀会が、次の50年への確実な一歩となるよう、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご祝辞

国土交通省　土地・建設産業局長

田村　　計

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会創立50周年に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和42年の設立以来、不動産取引の適正化及び流通の近代化の推進をはじめ、不動産に関する知識の普及・啓発、消費者の保護等に力を注がれ、不動産業の健全な発展に多大な貢献をしてこられました。

この間の会長をはじめ、役員及び会員各位の永年にわたる並々ならぬ御努力に対し、深く敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。

昨年改正された宅地建物取引業法においては、建物状況調査、いわゆるインスペクションを位置付けたほか、事業者団体による体系的な研修の実施などの規定も盛り込まれました。協会の皆様方の御協力に改めて御礼申し上げます。

現在政府においては、2020年頃までに「戦後最大の名目GDP600兆円」の実現を目指し、対策に取り組んでいるところです。

特に、就業人口の3%で11%強のGDPを生み出し、あらゆる社会経済活動の「舞台」を提供する不動産業分野には、これまで以上に大きな期待が寄せられております。

また、不動産業界は、既存住宅流通市場の活性化や近年増加する空き家の利活用など、時代の変化に合わせた課題解決への貢献を通じ、地域の活性化と国民の豊かな暮らしを実現する上で重要な鍵を握っております。国土交通省としても、引き続き、既存住宅や空き家の有効活用に向けた環境整備に取り組んでまいります。

これらの取組を推し進めていく上では、その担い手である皆様方の御理解、御支援が不可欠です。今後とも、不動産業政策に引き続きの御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人石川県宅地建物取引業協会の更なる御発展と、皆様方のますますの御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご祝辞

石川県知事

谷本　正憲

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会の創立50周年を、心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和42年の創立以来、半世紀の長きにわたり宅地建物取引業の健全な運営や公正な取引を通じた地域社会の発展に寄与するとともに、消費者利益の保護にも多大な貢献をしてこられました。

この間、高度経済成長やバブル経済の崩壊、近年では少子高齢化に伴う空き家の増加など、不動産を取り巻く環境は大きく変化しているところですが、宅地建物取引が適正に行われてきたのも、ひとえに歴代役員をはじめとした会員の皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表する次第です。

また、本県では、これまで貴協会との間で、平成18年に災害時における協定を締結し、能登半島地震の際には被災者への住宅情報の提供などの支援を行っていただきました。さらに、平成27年には、災害時における応急借上げ住宅の提供に関する協定を締結いただきました。地震や集中豪雨など自然災害が頻発する中、災害が発生した際、県民が安心して生活できる住宅の確保は大変重要であり、住宅情報を提供していただけることを大変心強く思っています。

北陸新幹線の金沢開業以降、国内外からの観光客の増加はもとより、首都圏との時間距離の大幅な短縮により、企業のオフィスや商業施設の立地が相次ぐなど経済面でも開業効果が現れ、金沢市を中心に地価が上昇するなど、不動産業界はまさに活況を呈しています。こうした中、貴協会には宅地建物取引の専門家として、また、利用者の身近な存在として様々なニーズにきめ細かく対応いただいているところです。

貴協会の皆様におかれましては、このたびの創立50周年を契機として、これまで以上に宅地建物取引の適正化に努められ、不動産業界の健全な発展、ひいては地域社会の発展にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人石川県宅地建物取引業協会の更なるご発展と皆様方のますますのご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞

公益社団法人　全国宅地建物取引業協会連合会　会長

伊藤　　博

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会が、ここに創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和42年3月に石川県宅地建物取引業協会として設立され、同年12月、石川県知事の許可を受け社団法人石川県宅地建物取引業協会として法人化されました。平成25年3月からは同県より公益認定を受け公益社団法人として新たなスタートを切られ、更なる公益の増進に邁進されております。

この間、不動産に関する各種研修や講演会を通じて、宅地建物取引業者の資質の向上並びに消費者保護に努められるとともに、宅地建物取引士試験や法定講習の実施、公共事業代替地の媒介斡旋など行政事業への協力、地域支援事業等多岐に渡る事業を行い、公益法人としての役割を果たしてこられました。

近年では、県より要請を受け開設された「空き家総合相談窓口」や遠方に住む方を支援する空き家対策ツール「空き家管理パック」の運用、空き家バンクの運営協力等、行政や関係団体と一体となり深刻化する空き家対策事業に取組まれております。

このほか、県の後援を受け、公益社団法人石川県不動産鑑定士協会と連携のうえ石川県不動産市況DI調査を実施、各地区の市況動向を公表し、地域経済の活性化と発展に寄与されています。

さて、昨今、フローからストックへの住宅政策の転換、人口減少社会の到来、IT・AIの進展、多様化する消費者ニーズ等、業環境は大きく変化し、既存ストック流通の担い手である我々への社会的要請も複雑かつ高度になりつつあります。

全宅連創立50周年・全宅保証創立45周年の節目の年を迎えた本年、本会では「ハトマークグループ・ビジョン2020」を策定し、次なる50年に向け、「地域に寄り添い、生活サポートのパートナー」である皆様の業環境の整備、改善に努めてまいります。

皆様方には、改めて一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、貴協会の益々の御発展と会員各位の御健勝を心より祈念申し上げまして、お祝いの辞とさせていただきます。

表　彰　者　名　簿

敬称略

1. 国土交通大臣感謝状

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会　以上1団体

2. 石川県知事表彰

作田　哲夫（光和土地建物㈱）
中矢　春樹（アーバン企画㈱）
中西　博志（中西商事）
山崎　洋義（㈱カナイワ興産）
清水　亮一（清水不動産サービス）
山本　忠雄（㈱タクシン）
河西　喜治（ジョイホーム）
寺家谷悦子（ジャスティス）
田丸　和明（ナルワ不動産）
田村　良一（㈲タムラ土地開発）
高山　隆治（㈲高山不動産）　以上11名

3. 公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会　会長感謝状

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会　以上1団体

4. 公益社団法人石川県宅地建物取引業協会　会長感謝状

田中不動産商事　故 田中　輝穂　以上1名

5. 公益社団法人石川県宅地建物取引業協会　事務局職員表彰

事務局長　中村　康男（勤続27年）
事務局次長　新栄　得哲（勤続15年）
事務局課長　山岸　朝美（勤続23年）
事務局課長　宮本　淳子（勤続23年）　以上4名

御 来 賓 名 簿

官　　庁

国土交通省北陸地方整備局 局長	小 俣 篤
石川県知事(顧問)	谷 本 正 憲
石川県土木部長	山 岸 勇
石川県土木部建築住宅課長	熊 田 康 也
(一財)石川県建築住宅センター 理事長	照 田 繁 隆
金沢税務署長	杉 野 武 義
石川県市長会長(金沢市長)(顧問)	山 野 之 義
白山市長	山 田 憲 昭
小松市長	和 田 慎 司
野々市市長	粟 貴 章
中能登町長	杉 本 栄 蔵

議　　会

衆議院議員(顧問)	馳 浩
衆議院議員(顧問)	佐々木 紀
参議院議員(顧問)	岡 田 直 樹
参議院議員(顧問)	山 田 修 路
参議院議員(顧問)	宮 本 周 司
石川県議会議長	米 澤 賢 司
石川県議会議員(顧問)	稲 村 建 男
石川県議会議員(顧問)	紐 野 義 昭
石川県議会議員	藤 井 義 弘
石川県議会議員	宮 下 正 博
石川県議会議員	焼 田 宏 明
石川県議会議員	徳 野 光 春
石川県議会議員	善 田 善 彦
石川県議会議員	作 野 広 昭
石川県議会議員	室 谷 弘 幸
石川県議会議員(顧問)	石 坂 修 一
金沢市議会議員(顧問)	田 中 展 郎
金沢市議会議員(顧問)	福 田 太 郎
金沢市議会議員(顧問)	中 西 利 雄

御来賓名簿

宅建協会

(公社)全国宅地建物取引業協会連合会	会長	伊藤　博
	副会長	坂本　久
	副会長	阪井一仁
	専務理事	市川三千雄
	事務局長	木幡　剛
(公社)全国宅地建物取引業保証協会	会長	伊藤　博
	副会長	初澤宣廣
全国宅建政治連盟	副会長	箕浦茂幸
(一社)全国賃貸不動産管理業協会	会長	佐々木正勝
	副会長	北里　厚
	副会長	五十嵐　薫
(一社)賃貸不動産経営管理士協会	理事	上原祥典
(公社)埼玉県宅地建物取引業協会	会長	内山俊夫
(公社)東京都宅地建物取引業協会	会長	瀬川信義
(公社)富山県宅地建物取引業協会	会長	追分直樹
	副会長	熊野　清
	常務理事	酒井　誠
(公社)福井県宅地建物取引業協会	会長	加藤信一
	副会長	此下美千雄
	常務理事	長谷川啓治
(公社)愛知県宅地建物取引業協会	会長	岡本大忍
(公社)三重県宅地建物取引業協会	会長	菅尾　悟
(公社)滋賀県宅地建物取引業協会	会長	小寺和之
(公社)京都府宅地建物取引業協会	会長	千振和雄
(公社)奈良県宅地建物取引業協会	会長	吉村岩雄
(公社)和歌山県宅地建物取引業協会	会長	赤間淳巳
(公社)香川県宅地建物取引業協会	会長	日下雅彦
(公社)広島県宅地建物取引業協会	会長	津村義康
(公社)長崎県宅地建物取引業協会	会長	三上浩二
(一社)大分県宅地建物取引業協会	会長	伊本憲清

関係団体・企業

全宅住宅ローン㈱	代表取締役社長	髙橋國明
㈱宅建ファミリー共済	代表取締役社長	笠間雅夫
アットホーム㈱	取締役社長	鶴森康史
住宅金融支援機構北陸支店	支店長	廣岡　隆
日建学院金沢校	支店長	番場邦雄
(公財)東日本不動産流通機構	理事長	瀬川信義
(公社)全日本不動産協会石川県本部	本部長	田井　仁
(公社)全日本不動産協会福井県本部	本部長	吉田啓司
石川県司法書士会	会長	中巳出　崇
石川県土地家屋調査士会	会長	丸田三智雄
(一社)石川県建築士会	会長	照田繁隆
(一社)石川県建築士事務所協会	会長	西川英治
(一社)石川県木造住宅協会	会長	山田外志雄
(一社)石川県構造物解体協会	会長	今村秀憲

顧問・相談役

顧問弁護士	岡田　進
顧問税理士	倉　瑛徑
会員外監事	小村俊也
相談役	南　光裕
相談役	森川祐吉

アトラクション

御陣乗太鼓

能登半島輪島の名舟村に伝承される御陣乗太鼓は、戦乱の世、天下を狙う越後の武将・上杉謙信が、名舟村へと攻め入った時、武器を持たない村の男たちが、木の皮を面とし、海藻を頭髪とし、夜陰に乗じて陣太鼓を打ち鳴らし、上杉の軍勢を追い払ったという伝説の太鼓です。御陣乗太鼓は、昭和38年に石川県指定無形文化財に指定されております。

オーケストラ・アンサンブル金沢 弦楽四重奏

ヴァイオリン
松井　直

1988年桐朋学園大学音楽学部を首席卒業。89年同学研究科を修了。88年ボストン響より全額奨学金を得てタングルウッド音楽祭に参加。91年イタリア・キジアーナ音楽院夏期コースに奨学金を得て参加、ディプロマ名誉賞を取得。89年よりオーケストラ・アンサンブル金沢団員。94年コンサートマスターに就任。リサイタル、室内楽などの演奏活動、CDの録音も行なうほか、石川県ジュニアオーケストラなど後進の指導にも意欲的である。

ヴァイオリン
上島　淳子

東京都出身。桐朋学園大学音楽学部卒業。同研究科修了。その後、桐朋オーケストラアカデミーにて研鑽を積む。久保田良作、久保良治、カール・ペトロッチの各氏に師事。1998年よりオーケストラ・アンサンブル金沢第1ヴァイオリン奏者。2003年より1年半余アメリカへ留学。リチャード・ルビー氏に師事。アンサンブル金沢のメンバーと共に弦楽四重奏団を組み活動中。

ヴィオラ
石黒　靖典

石川県出身。昭和音楽大学卒業。ヴィオラを兎束俊之に、室内楽を菅野博文、川上久雄の各氏に師事。88年よりオーケストラ・アンサンブル金沢ヴィオラ奏者。

チェロ
大澤　明

富山県出身。京都市立芸術大学卒業、安部賞を受賞。イタリア・フィレンツェ・ケルビーニ音楽院で学ぶ。86年民音室内楽コンクールで斎藤秀雄賞受賞。同年神戸室内合奏団ソロ・チェロ奏者として活動。93年よりオーケストラ・アンサンブル金沢チェロ奏者。

1988年、岩城宏之が創設音楽監督（永久名誉音楽監督）を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。JR金沢駅兼六園口に建つ石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭への4度の招聘など、これまで18度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツ・グラモフォン、ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス・クラシックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年より井上道義が音楽監督を務め、活動を展開している。

オフィシャル・サイト http://www.oek.jp/

公益社団法人 石川県宅地建物取引業協会

〒921-8047　石川県金沢市大豆田本町ロ46-8（石川県不動産会館）
TEL：076-291-2255㈹　FAX：076-291-1118
〒923-0961　石川県小松市園町ニ1　小松商工会議所3階（南加賀事務所）
TEL：0761-21-2181㈹　FAX：0761-23-2175
〒921-0021　石川県七尾市本府中町レ部33-34（能登事務所）
TEL：0767-52-0543　FAX：0767-52-0547